

都立福生 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 「詳説日本史」（山川出版） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史と総合的にとらえて理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 日本文化のあけぼの 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、原始社会（旧石器時代・縄文時代・弥生時代）の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する。	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	【知識・技能】旧石器・縄文・弥生文化の成立と変容を理解している。 【思考・判断・表現】考古資料をもとに旧石器・縄文時代の社会の特徴を考察し、表現している。文献資料にもとづき弥生時代を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】黎明期の日本列島について考察することを通じ、その特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	5
	2 古墳とヤマト政権 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、古墳の変容とヤマト政権による国家の形成過程について考察する。	1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	【知識・技能】国家の形成・古墳文化・飛鳥文化について大陸との関係に着目して理解している。 【思考・判断・表現】中国の歴史書などをもとに小国の形成過程や仏教の受容や遣唐使など多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】大陸との関係に着目して推古朝の政治や文化の展開を主体的に追求しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1
	3 律令国家の形成 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、律令国家の形成過程と国内統治体制について理解し、奈良から平安前期を考察する。	1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容	【知識・技能】中国王朝との関係に着目して律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】白鳳期の政治動向に着目し、律令体制整備の過程について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとつながりを見出そうとしている。	○	○	○	11
	定期考查			○	○		1
2 学 期	4 貴族政治の展開 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安中期の摂関政治や地方政治の崩れを考察する。	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開	【知識・技能】藤原北家が権力を掌握していく過程から律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】文献資料を活用して、律令制度の変容を考察し、地方支配の状況を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】平安時代の政治の在り方と文化の関係を考察することを通じ、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	7
	5 院政と武士の躍進 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、平安後期の院政や平氏政権の特性について考察する。	1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権	【知識・技能】貴族政治や土地制度の変容をもとに、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 【思考・判断・表現】武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、土地の支配や所有が持つ意味について多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中世社会の特色について多面的に考察することを通じ、時代を通観する問を表現し追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1

6 学期	6 武家政権の成立 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、古代から中世への変化について考察し、鎌倉幕府成立から衰退までの流れと文化を考察する。	1. 鎌倉幕府の成立 2. 武士の社会 3. モンゴル襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化	【知識・技能】古代から中世への変化について考察し、鎌倉幕府の成立・承久の乱・元寇・鎌倉文化について理解している。 【思考・判断・表現】幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報を基に根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第一次世界大戦後に労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会と比較しながら意欲的に検討しようとしている。	○	○	○	9
	7 武家社会の成長 処理量を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、南北朝の動乱から室町幕府の成立および衰退、その後の戦国大名の登場について考察する。	1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭	【知識・技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易・琉球王国・戦国大名などについて、諸資料から理解している。 【思考・判断・表現】南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や国際情勢の変化とその影響について、多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】武家社会の変容や東アジアの国際情勢の変化に着目して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3 学期		3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	【知識・技能】守護大名と戦国大名の権力の相違点について領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】室町文化の特徴と当時の政治や経済の動向との関係に着目して多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】戦国時代を中心とする歴史の展開にかかわる課題を迫及しようとしている。	○	○	○	7
	8 近世の幕開け 諸資料を活用し、課題を迫及したり解決したりする活動を通して、大航海時代の世界史的背景を踏まえ織豊政権の特色と桃山文化について考察する。	1. 織豊政権 2. 桃山文化	【知識・技能】アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する織豊政権の特色や貿易について理解している。 【思考・判断・表現】織豊政権の諸政策の目的やヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響について多面的に考察して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的に考察し、時代を通観する問を表現しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70